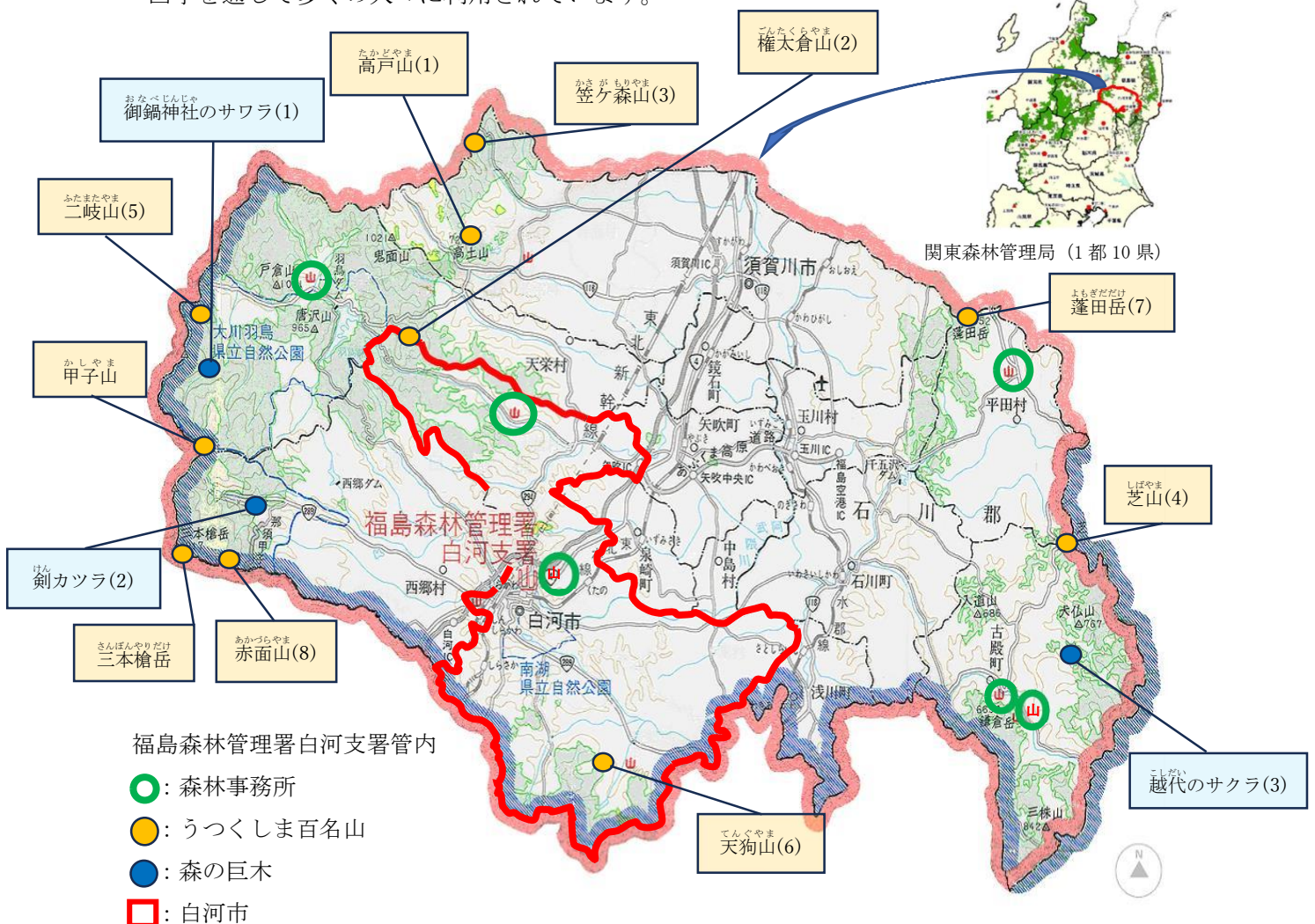


「森林管理署長等が語る（福島森林管理署白河支署）」では、平成29年10月号で概要等、令和2年9月号で史跡等紹介、令和4年10月で新しい林業実行プランに関連する取組について紹介しておりますので（この下りは支署の伝統です）、今回は管内にある「森の巨木100選」、地元から親しまれている「うつくしま百名山」の見どころを中心に紹介させていただきます。

1 管内概要（各巨木、百名山の位置）について

福島森林管理署白河支署は、阿武隈川森林計画区内の福島県中通り南部に位置し、管轄する2市5町6村のうち、白河市、西郷村、須賀川市、天栄村、古殿町、平田村、玉川村の7市町村に所在する国有林野約3万4千haを管理しています。

管内では、人工林での木材生産をはじめ、優れた自然景観を有している天然林は、日光国立公園や大川羽鳥県立自然公園などに指定され、山岳地帯においては登山、都市近郊にあっては、ハイキングや自然観察、スキーなど、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されています。



2 森の巨人たち 100 選について

林野庁は、平成 12 年に全国の国有林内に生育する巨木の中から知名度、希少性、樹高、幹の太さなどを基に 100 本を選び、「森の巨人たち 100 選」として発表し、保護、整備することとしました。管内にある巨木がこちらです。

(1) 御鍋神社境内のサワラ (天栄村) 幹周 380cm・樹高 42m

今から約 1000 年前、平安時代の中頃、戦いに敗れた平将門の妻、桔梗姫とその一族郎党が追っ手を逃れ、密かにこの地に隠れ住んだと伝えられます。桔梗姫は将門の子を産みますが、残党狩りが厳しく姫ら一行は鍋のみを残し、姿を消したとされています。この鍋をご神体として祀って以来、御鍋神社と呼ばれるようになりました。その時に植えられたのか、自然に育ったのかは分かりませんが、神社の正面で大きく立っています。



御鍋神社とサワラ



御鍋神社とサワラ



サワラ

(2) 剣カツラ (西郷村) 幹周 970cm・樹高 45m

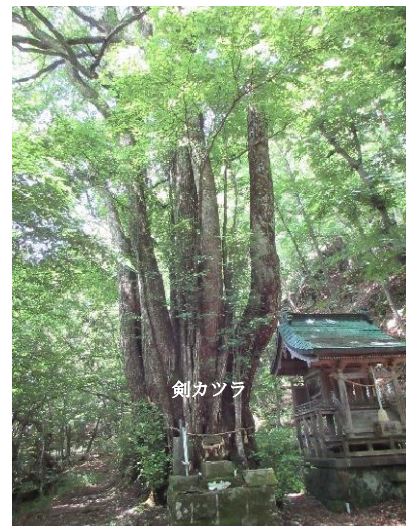
樹齢 300 年を越す複数の幹からなる桂。昔ここに鬼神が現れ路行く人々を苦しめたので、白河城主・松平定信公が剣をもって鬼神を封じ込めたといわれ、霊験あらたかなる木として村人たちの信仰を集めています。国道を外れ、阿武隈川の源流をたどるようにして走る旧国道 289 号 (冬期間は通行止め) 沿いにひっそりとたたずんでいます。車で近くまで行け、新甲子遊歩道にも行けるので、いい観光名所となっています。



新甲子遊歩道



剣カツラ



剣カツラ

(3) 越代のサクラ（古殿町）幹周 722cm・樹高 20m

県天然記念物にも指定される樹齢約 400 年のヤマザクラの大木です。県内でも開花が遅い桜のひとつで、遊歩道で桜のそばまで近づくこともできます。また、毎年「越代のサクラ祭り」が行われ、県内外から多くの観光客が訪れています。また、古殿町から承諾依頼があり、森林総合研究所林木育種センターが天然記念物や巨樹、名木等の樹木を対象に、後継樹を増殖するために行っている「林木遺伝子 110 番」にも取り組んでおります。



3 うつくしま百名山について

平成 10 年に福島テレビが開局 35 周年を記念して、福島県内各地域から選定されたもので、国有林には地元で親しまれている百名山が多くあります。また、4～6 月、11 月には多くの山開きが行われています。管内にある百名山がこちらです。

(1) 高戸山（須賀川市）標高約 729m 令和 6 年 4 月 21 日山開き

古くは高鳥山とも言われ、須賀川市の旧・長沼町のシンボリックな存在の藤沼湖を東麓に擁しています。藤沼湖は農業用水を確保するために昭和 12 年から工事が始まり太平洋戦争を挟んで 13 年の歳月を費やして完成した人造の貯水池です。登山口近くには藤沼神社の立派な本殿が建っており、南麓には藤沼湖自然公園があり、温泉施設をはじめ、オートキャンプ場やコテージ、パークゴルフ場、バーベキュー広場など施設が充実しています。東日本大震災以降登山は制限されていましたが、令和 5 年度から登山道を整備し 13 年ぶりに山開きが再開しております。



(2) 権太倉山（白河市）標高 976m 令和 6 年 4 月 29 日（月・祝）山開き

山名の由来は諸説あり、昔この山にいた「権太黒」という馬の名前にちなんだとも、平安時代にこの山で休憩をとった八幡太郎義家の鞍が石になったとして「権太鞍山」になったともいわれています。また、源義経の愛馬「太夫黒」は、この山の名前と関連があるとも、山肌

にそびえる巨石「聖ヶ岩」は義経が奥州に向かう途中に名付けたとも伝わります。山頂からは那須連峰や甲子連山、羽鳥湖、磐梯山などが望め、山桜やツツジ、松や紅葉など四季折々の景色が楽しめます。麓には、幅 30 メートル・落差 5 メートルの「不動滝」、ふくしまの遊歩道 50 選にも選ばれた遊歩道があり、バンガローやキャンプ場などが整備された「聖ヶ岩ふるさとの森ビジターセンター」は登山の拠点として最適です。



(3) 笠ヶ森山 (須賀川市) 標高 1,013m 令和 6 年 5 月 19 日山開き

旧岩瀬村が 5 月第 3 日曜日に山開きを開催するようになって、登山道が整備されるようになりました。山開きは 2007 年を最後に一度は終了してしまいましたが、東日本大震災や東京電力福島第一原発事故災害などからの復興のため、実行委員会を立ち上げ 2012 年から再開となりました。笠ヶ森山の魅力は、高山植物のトリカブトの群生地など原生の自然が多く残っていることであり、ひときわブナの原生林は見事です。さらに、天候に恵まれれば山頂から大パノラマが眺望できます。山頂には TV 電波の反射板が設置されており、遠くからでも確認でき、笠ヶ森山と判別することができます。



(4) 芝山自然公園 (いわき市・古殿町・平田村) 標高 819m 令和 6 年 5 月 26 日山開き

いわき市・古殿町・平田村の境界に位置するなだらかな山で、各市町村に登山口があります。山頂には、芝生が広がる猿小平や富士見台展望台があり、遠くの富士と共に阿武隈の山並みが眺められます。また、山頂付近には、約 6,000 平方メートルの広々とした平地が広がり、春になると周辺にヤマザクラが咲き誇ります。道路が整備されており、山頂付近まで車で登ることができ、キャンプやハイキング、澄み切った夜空は、天体観測にも最適です。地元の「三市町村芝山自然公園美化協力会」とはふれあいの森で協定を結んでおり、5 月には山開き、7 月には草刈りも行われています。

※「ふれあいの森」は、森林づくり活動に参加したいボランティア団体などへ、森林づくり活動や森林と親しむ活動などのフィールドとして国有林野を提供する制度です。



山頂付近の広場



展望台から見た広場



広場に設置してある記念碑

(5) 二岐山（天栄村）標高 1,544m 令和6年6月9日山開き

二岐山は男岳（西岳）、女岳（東岳）の二つの丸みを帯びたピークを持つ双耳峰（頂上がほぼ同じ標高で二つの耳のように並んでいる山の事）で、その姿は特徴的で、福島県内のどこの山からも見つけることができるといわれるほどです。特に二岐山山頂(男岳)からの展望はすばらしく会津の一大展望台で、江戸時代に発刊された「日本名山図会」にもものっている歴史の古い山です。また、地元のシンボリックな山として1983年（昭和58年）からは山開きが毎年開催されており、近くには二岐温泉や湯本温泉などの温泉や「大内宿」「塔のへつり」などの名勝地があり恵まれたロケーションにあります。



二岐山



山頂からの展望



山頂からの展望

(6) 天狗山（白河市）標高 626m 毎年11月中旬に「日本一遅い山開き」が行われる。

旧・表郷村の金山地区と番沢地区のシンボリックな存在。裾野の広い堂々とした山容をしています。山麓には天狗山球場（表郷総合運動公園）があり白河の関も近く、山中に天狗が棲むという伝承が残っています。裾野には豊かな田園風景が広がり、山頂からは那須連峰や磐梯山を眺められ、気象条件が整えば富士山が見えることもあります。東北最大級のカタクリやヤマブキソウの群生が見られるほか、多種多様な山野草を楽しむことができます。また、地元の「おもてごう里山クラブ」とは遊々の森で協定を結んでおり、4～5月上旬には花まつりが開催され、6月中旬には10歳を祝う会、11月中旬には日本一遅い山開きと様々なイベントが行われています。今年の6月6日にはその活動が認められて、第36回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」で全国森林レクリエーション協会会長賞を受賞しております。

※「遊々の森」は、学校などへ森林におけるさまざまな体験活動や学習活動を行うフィールドとして国有林野を提供する制度です。



天狗山の遊歩道



山頂からの展

(7) 蓬田岳（平田村）標高 952m

阿武隈山地の中央に位置するこの蓬田岳は、周囲に視界を遮る山々もなく、この周辺では孤高を誇っているため、「平田富士」とも呼ばれています。眺望もよいことから、福島県内では登山人気の比較的高い山で、山頂からは吾妻連峰、安達太良山、磐梯山、那須連峰、阿武隈高地、八溝山系、太平洋のみならず、天候や気候次第では筑波山、日光の男体山・女体山、富士山の山頂部も見ることができます。登山道は良く整備され、低山ながら多彩なコースが開かれており、初心者から中級者まで楽しめます。また、山頂に祀られる菅船神社（菅布禰神社）は猿田彦命と日本武尊を祀ったといわれ、日本武尊が東国平定の際、蓬田岳に棲む水鬼と風鬼を討伐したときに建立されたといわれています。



蓬田岳



菅船神社



山頂からの展望

(8) 赤面山（西郷村）標高 1,701m 山開きは毎年5月最終日曜日に開催

赤面山は、那須連山の主脈から離れた静かな展望の山です。那須連山は、栃木県那須町から福島県西郷村にまたがる成層火山群の総称であり、北から主脈沿いに、三本槍岳・朝日岳・茶臼岳・南月山・黒尾岳が那須五岳として知られており、四季を通じて一大観光地となっています。那須甲子少年自然の家から登るコースは、距離が長く、タフなコースであり、シロヤシオの開花シーズンは多くの花見登山者で賑わいます。その他、那須側から三本槍岳コースを分岐して赤面山山頂を目指すコースなど変化に富んだコース設定があります。また、地元の「赤面山を緑にする会」とはふれあいの森で協定を結んでおり、毎年5月と9月にはボランティアによる植林活動を10年間行っています。その活動が認められて、福島県で行われている環境保全に顕著な功績のあった個人又は団体を顕彰し、その功績をたたえて広く紹介することにより、県民の環境保全に関する意識の高揚を図ることを目的とした「うつくしま、ふくしま。環境顕彰」を受賞し、今年の6月5日に福島県知事より表彰されています。



以上簡単に思いつくところを紹介させていただきました。ほかにも三本槍岳、甲子山など低山から高山まで色々ありますが、機会があったら是非来て、登山を楽しんで頂きたいと思います。

4 新たな取組について

事業についても、少し触れさせていただきます。今年度の事業量は、収穫量約9万^m³、素材生産量3.3万^m³、植付約123ha、下刈り約451ha、保育間伐約204ha、林道新設工事220m、治山工事（山腹工）2箇所を主な事業として行っており、土地の利活用案件（風力発電、土地売りほか）、碎石等の販売のなど、無いものが無い位職員が頑張っておりまして、試行的な意味から以下について新たに取組んでおります。

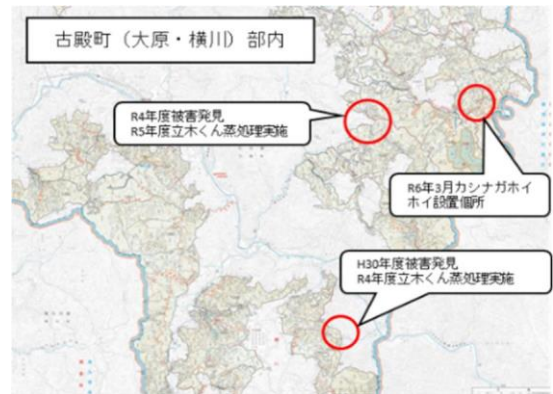
（1）ニホンシカの餌による誘因モニタリング調査

獣害対策として、令和元年度よりセンサーカメラによるニホンシカのモニタリング調査を毎年職員実行で行っており、今年度は鉢塩及びヘイキューブを設置して、その誘因状況を調べることにしています。管内では今まで目立った被害は確認されておりましたが、熊によるスギの樹皮剥ぎも多く確認されるようになっており、場所によっては獣害対策もやりながら、造林事業を実施する時期に来ているのかもしれませんが、予算的に厳しく、やりたい業種も絞っている状況で、また、お金がかかるということは頭の痛いところです。



（2）ナラ枯れ対策

以前より隣接署での被害が確認されていましたが、当支署管内においては古殿町で平成30年度に被害が確認されました。点的な被害であったことから経過観察していましたが、近年被害が拡大傾向にあることが確認されたため、令和4、5年度に一部地域において立木くん蒸による被害木処理を実施しました。令和6年度については、試験的にカシナガホイホイを設置し、秋期にカシノナガクイムシの捕獲状況を確認することにしております。



R 4 古殿町三株国有林 作業面積 3.89ha 材積 302.83 m³ 404 本

R 5 古殿町ヲテマ国有林 作業面積 5.28ha 材積 158.69 m³ 374 本



R6.3 古殿町ヲテマ国有林 1239 本 2 林小班

職員によるカシナガホイホイの試験的な設置状況（5 本）

※カシナガホイホイとは、強い粘着性のシートを巻くことにより、カシノナガキクイムシを捕獲するもので、脱出時の捕獲を目的として使用するものです。

5 おわりに

今回は、管内国有林にある穴場的なところを紹介しましたが、温泉場も周りに多くありますので、是非セットで計画し観光に来て頂ければと思います。また、その時には名物白河ラーメンも食べてください。私も赴任以来各店舗回らせて頂き、有名処はほぼ制覇しました。何回でも食べたいラーメンです（個人差あり）。